神奈川県議会議員
石川ひろのり
県議会レポート 2017 vol.10

石川ひろのり事務所　〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202
TEL 044-455-6611　FAX 044-455-6614

県議会控室　〒231-8588 横浜市中区日本大通１ 神奈川県庁新庁舎７階
TEL 045-210-7620　FAX 045-210-8911

http://www.hiro-ishikawa.jp/　石川ひろのり　検索

県政刷新

プロフィール　1968年11月3日生まれ 横浜市出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員岩國哲人事務所へ転職。その後、参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。引きこもり支援相談士。2015年県議会議員選挙初当選。麻生区在住。

教育の質を担保

教員が「子どもたちと向きあう時間」や「授業改善に取り組む時間」を確保

公立学校教員の多忙化解消に向けた取り組みについて

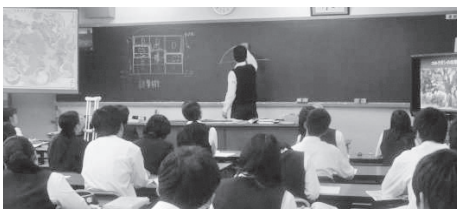
質問】先般、教員勤務実態調査の集計速報値が公表された。中学校教諭の６割近くが１週間当たりの学内総勤務時間が約60時間以上となっているとのこと。今回の速報値は、教員の実態を十分に裏付けるものになっていると受け止めており、県立学校においても変わらないと認識している。超過勤務の要因として、授業や生徒指導、成績処理のほか、報告書作成などの事務作業があり、これまで対策を講じてきているが、学校現場の多忙な状況は解消していないものと感じている。

教育長】学校現場を取り巻く環境が複雑化・多様化し、学校に求められる役割が拡大する中、教員の多忙化の解消は、喫緊の課題であると認識している。県教育委員会では、毎年度、教員の多忙化解消に向けた基本方針を定め、学校への調査の縮減や、「ハイスクール人材バンク」による退職教員の活用など、様々な対策を講じてきたが、未だその解消には至っていません。そこで、平成29年度から新たに「業務アシスタント」を県立学校15校にパイロット的に配置し、調査、照会業務や入力作業など、教員以外の者でも対応可能な業務を行うことを通じて、教員の負担軽減を図っていく取り組みを始めた。さらに、多忙化の要因の一つである部活動指導の在り方についても検討が必要である。具体的には、部活動の休養日の設定や、顧問として外部の人材を活用することなどについて、高体連などの関係団体や、学校長の意見も聞きながら検討し、具体的な対応を図っていく。今後、教員が**「子どもたちと向きあう時間」**や、**「授業改善に取り組む時間」**を確保し、多忙化解消に向けた取り組みを一層進めていく。

質問】県内の教員の勤務実態について、横浜市・川崎市以外では、実態調査の実施は一部の市町にとどまるとのことであり、**県立高校においては、一度も実態調査を実施していない**とのことである。加えて、他県の状況を調査したところ、少なくとも10を超える府県が何らかの形で調査を実施していた。県内の公立学校教員に対する勤務実態調査を早急に行うべきと考える。

教育長】平成26年度に、小・中学校教員への勤務実態に関する聴き取りを行い、また、27年度には、県立学校教員を対象にアンケート調査を実施するなど、勤務実態の把握に努め、多忙化解消に向けて取り組んできた。教員は、授業だけでなく、部活動指導や生活指導、保護者への対応など、放課後や休日にも業務を行うという特殊性があることから、これまで時間外を含めた勤務時間全体の調査は行っていない。しかし、多忙化の抜本的解消のためには、これまで調査してきた勤務内容に加えて、勤務時間の把握が必要と認識している。そこで、県立学校において、地域や規模、タイプ別にいくつかの学校を抽出し、教員の勤務時間について、**この秋を目途に調査していく。**

意見】教職員が長時間労働により疲弊していては、教育の質が担保できないと思います。実態の把握ができなければ、対策を打つにしても打てなくなってしまうのではないか。まず正確な把握に向けた早急な取り組みを改めてお願いする。



再生紙を使用しています。

県政報告（タウンニュース掲載）

石川ひろのり

1968年11月3日生まれ／横浜市出身／サラリーマンを約20年経験／参議院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験／麻生区在住

かながわ民進党
県政報告vol.11

「自然環境保全」「都市農業推進」など

『環境農政常任委員会』に所属決定

神奈川県議会議員　石川ひろのり

自然環境保全から見るまちづくりを

県議会で3年目となる本年度も「現場主義」を貫き、地域の皆さまの声を政治の場に届けて参ります。本年度、県議会では「環境農政常任委員会」に、特別委員会は「経済・産業対策特別委員会」への所属となりました。「環境農政常任委員会」は、県内の農業・漁業・畜産業の推進・振興、緑地・水資源の保全、大気環境・不法投棄対策など審査する委員会です。便利な生活も必要ですが、都市の貴重な緑地を次世代へ継承するため、残された緑地を保全し、県で買い入れた緑地の適切な維持管理に取り組むなど都市のみどりの保全・活用は大変重要な課題であると認識をしています。また、県内各地をはじめ麻生区内にもある里地里山の保全・活用も、良好な景観やレクリエーションの場を提供するためにも守っていかなくてはなりません。自然環境との共存をどのように進めていくのか。さまざまな政策課題の解決に向けて尽力して参ります。

広域行政だからできることを

経済・産業対策特別委員会では、道路、鉄道などの交通基盤の整備、観光振興をはじめ、産業振興、雇用問題など幅広い分野の調査を行います。特に交通基盤の整備などは、市区町村を超えた取組みが必要で、県が先頭に立って進めていく事業であると認識をしています。

今後も神奈川県に住んで良かった、住み続けたいと感じていただけるように、しっかりと質疑を重ねて参ります。ぜひ皆さまからのご意見ご要望をお待ちしております。

石川ひろのり事務所
県政へのご意見・ご要望はこちらまで
麻生区百合丘1-5-4
米山ビル202
☎044-455-6611
FAX044-455-6614
http://www.hiro-ishikawa.jp

「『環境農政常任委員会』に所属決定」2017年6月9日

駅頭・街頭活動

麻生区内の各駅にて、皆さまの通勤・通学時間帯を中心に駅頭・街頭活動をしております。

毎回多くの皆さまからお声掛けをいただき、日々元気をいただいております。駅頭・街頭活動では、活動報告をお配りしておりますので、お見かけの際はぜひお受け取りいただき、ご一読いただけたら幸いです。また、地域のお困りごとやご意見、ご要望など、ぜひお聞かせください。今後も駅頭・街頭活動を含め、さまざまな場面で県議会のご報告をさせていただきます。

活動報告

はるひ野駅付近「止まれ」標識設置

6月、はるひ野駅近く、ドラッグストアカワチとくろかわのぞみ保育園近くの交差点に「止まれ」標識が設置されました。路面にも「止まれ」の表示がなされ、正式に標識の運用が始まりました。地域の発展とともに車両の通行量が増え、近隣小中学校の通学の際に危険であるというお話しから、駅頭活動や地域にお住まいの方、町内会の皆さまからもご要望をいただいておりました。設置を機会に、事故のない安心・安全な街になるよう期待をしております。

麻生区消防団ポンプ操法大会

6月、麻生区内で行われた「麻生区消防団ポンプ操法大会」に出席。麻生消防団全12班145名の代表が標的までの消火タイムや動作、身なりの審査など、日頃の訓練の成果を競い合われていました。地域の安全を守るため日々訓練に励み、努力を惜しまない皆さんの姿に、強い「団結力」を感じました。

「全公立展2017」を視察

6月、パシフィコ横浜で開催された「全公立展」を視察。

今年は3万6千人もの生徒・保護者の方が参加されており、各学校を代表して来ている高校生の皆さんの声掛けも真剣でした。制服の展示や、部活動の紹介など学校ごとにさまざまな特色が出ていました。いくつかの学校の先生にヒアリングもさせていただき、現場の声も伺うことができました。生徒の皆さんが将来の夢に向かって、自分に合った学校選びをする機会を今後も続けていくことが大切だと考えます。

石川ひろのりの活動報告・委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧いただけます。

▶県議会レポート毎月発行！詳しくは事務所までお問い合わせください。　Facebook 石川ひろのり 検索

ボランティアスタッフ募集

石川ひろのり事務所では 随時ボランティアスタッフを募集しています。広告用チラシ折り、ポスター掲示、街頭演説の支援など短時間でもかまいません。皆様のできる範囲でお手伝いください。皆様のご支援とご協力をお待ちしています。▶連絡先：TEL 044-455-6611

石川ひろのりの活動への ご支援（個人献金）のお願い

石川ひろのりの活動にご協力賜りたくご案内させていただきます。なお、寄付は税額控除の対象となりますので、ご相談くださいますようお願い申し上げます。
▶石川裕憲後援会　【郵便局】払込取扱票にて（口座番号 00200-7-52777）　【銀行】三井住友銀行 新百合ヶ丘支店　普通　口座番号 6902358

石川ひろのりへのご意見・ご質問をお待ちしております。

ご意見など

お名前

TEL

ご住所